

平成30年度

事業計画及び予算書

公益財団法人 倉敷考古館

平成30年度事業計画書

1. 遺物の蒐集及び展観 (定款 第四条の1)

- ・遺物の常設展示を行い、吉備地方を中心にした考古学資料がいつでも展観可能とする。
- ・倉敷考古館以外の博物館、その他施設に貸出を行い古代についての知識を深めてもらう。
- ・小、中、高校生に資料を見せて学外授業として活用してもらえるように展示を充実さす。
- ・企画展「備前焼き源流展」を開催する。5月16日～6月24日 30日間開催予定
- ・特別展「バーナード・リーチ古代に会う」を開催する。9月19日～11月11日 42日間開催予定
- ・就実大学との連携事業としてキャプション等の説明文の多言語化に取り組む

2. 遺物の保管並びに保管の受託 (定款 第四条の2)

- ・就実大学との連携で資料並びに文献資料のデータベース化を行い科学的保管に取り組む
- ・別館資料室の保管体制を確立する (バックヤード体制の確立)

3. 遺跡・遺物の調査及び研究 (定款 第四条の3)

- ・考古資料室を整備して大学、公設機関の調査・研究への協力体制を整える。

4. 考古学に関する印刷物の刊行 (定款 第四条の4)

- ・考古館収蔵品の図録を刊行する

5. 考古学に関する集会、講演会 (定款 第四条の5)

- ・考古館を見学に来た児童生徒に対してミニ集会を開催し古代について知ってもらう
- ・特別展に合わせて講演会を開催する
- ・大学における博物館学芸員実習生 (博物館実習) の為の集会を開催する。

6. その他目的を達成するために必要な事業 (定款 第四条の6)

- ・県内大学との連携関係を強化して教育・人材育成に協力する

予 算 書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科 目	30年度予算案	29年度予算案	差 額	備 考
I. 経常増益の部				
(1) 経常収益				
事業収益			0	
入館料	3,600,000	6,050,000	△ 2,450,000	
刊行物等収入	600,000	1,350,000	△ 750,000	
手数料収入	200,000	100,000	100,000	
寄付金収入			0	
受取寄付金	7,800,000	6,500,000	1,300,000	
補助金収入				
受取補助金	0	0	0	
雑収益			0	
受取利息	5,000	5,000	0	
資料貸与料	5,100,000	5,000,000	100,000	
雑収入				
経常収益計	17,305,000	19,005,000	△ 1,700,000	
(2) 経常費用				
事業費				
給与手当	7,104,000	9,920,000	△ 2,816,000	
福利厚生費	904,000	1,280,000	△ 376,000	
旅費交通費	64,000	40,000	24,000	
通信運搬費	120,000	80,000	40,000	
什器備品費	0	160,000	△ 160,000	
賃借料	2,080,000	2,073,600	6,400	
警備料	455,000	455,000	0	
印刷製本費	600,000	500,000	100,000	
諸謝金	20,000	30,000	△ 10,000	
調査整理費	0	0	0	
リース料	680,000	664,000	16,000	
修繕費	1,200,000	80,000	1,120,000	
光熱水料費	200,000	160,000	40,000	
消耗品費	280,000	260,000	20,000	
減価償却費	48,000	48,000	0	
保険料	56,000	88,000	△ 32,000	
雑費	280,000	240,000	40,000	
管理費				
給与手当	1,776,000	2,480,000	△ 704,000	
福利厚生費	226,000	320,000	△ 94,000	
旅費交通費	16,000	10,000	6,000	
通信運搬費	30,000	20,000	10,000	
消耗品費	70,000	40,000	30,000	
修繕費	300,000	20,000	280,000	
光熱水料費	50,000	40,000	10,000	
図書新聞代	0	0	0	
賃借料	520,000	518,400	1,600	
リース料	170,000	166,000	4,000	
保険料	14,000	22,000	△ 8,000	
什器備品費	0	40,000	△ 40,000	
雑費	70,000	60,000	10,000	
経常費用計	17,333,000	19,815,000	△ 2,482,000	
当期経常増減額	△ 28,000	△ 810,000	782,000	
II. 経常外増減の部				
1. 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
2. 経常外費用				
過年度減価償却費	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期増減額	△ 28,000	△ 810,000	782,000	
一般正味財産期首残高	9,464,470	10,274,470	△ 810,000	
一般正味財産期末残高	9,436,470	9,464,470	△ 28,000	

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定	なし		
事業番号	借入先	金額	用途

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

設備投資の予定	なし		
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の用途